

トラック事業者及びトラック運転者に対する ガイドライン周知状況等実態調査



調査の概要

○概要

主に「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」及び「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」の周知状況や安全対策取組状況について、令和2年1月～2月に調査を実施

○対象

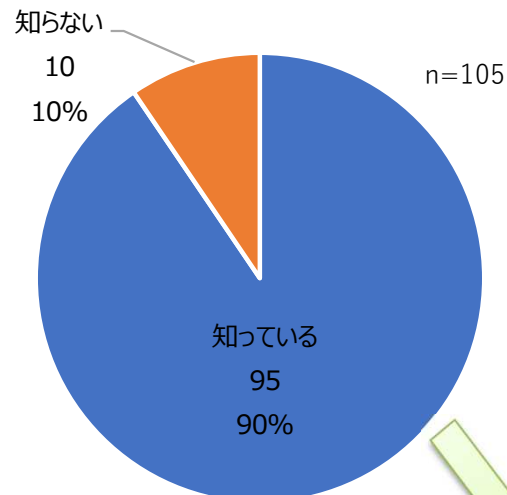
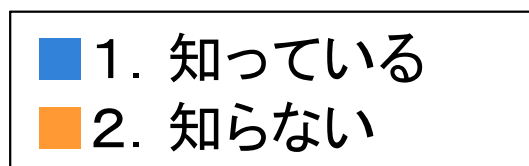
- ・トラック事業者 (回答：105者)
- ・トラック運転者 (回答：382者)

○調査内容

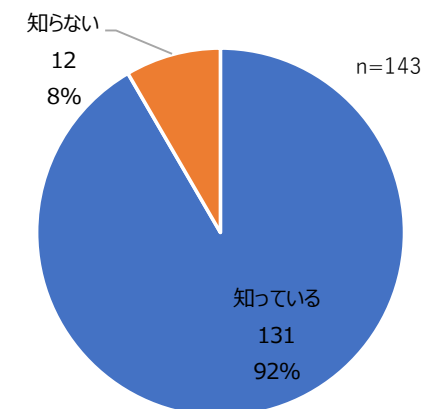
- ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」及び「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」の周知状況
- ・コンテナ情報の伝達等、安全対策の取組状況
- ・船社におけるフレキシタンクの取り扱い 等

■国土交通省で策定している、

- ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」
 - ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」（以下「ガイドライン等」）
- を知っていますか。

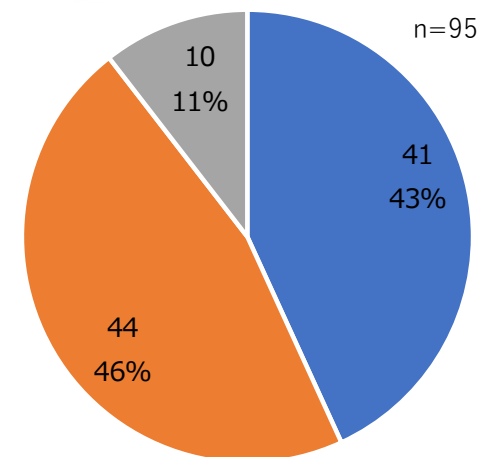
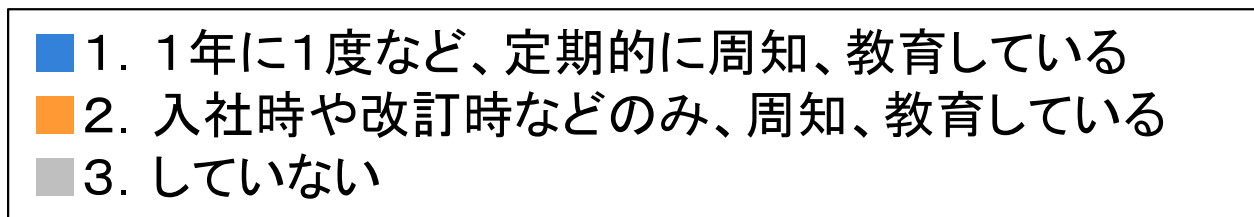


（参考：平成30年度調査）

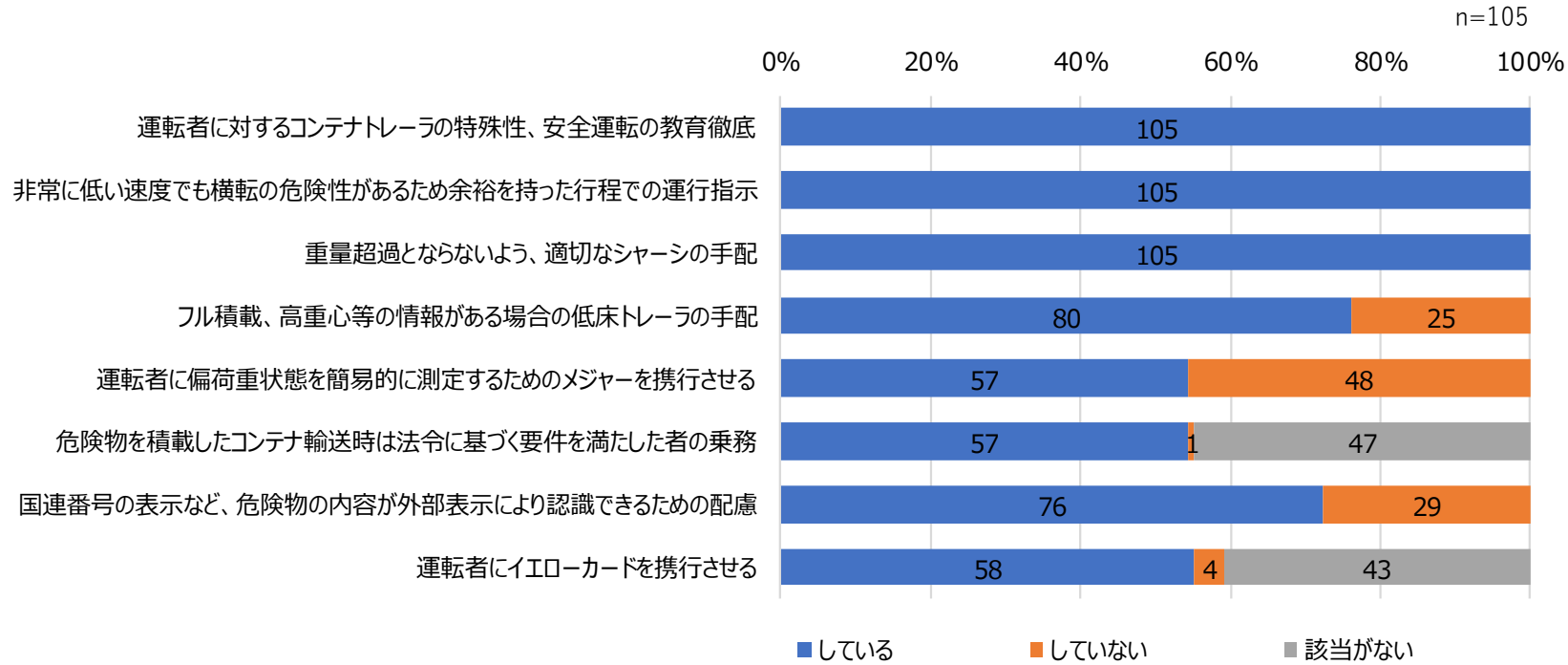


【ガイドライン等を知っている場合】

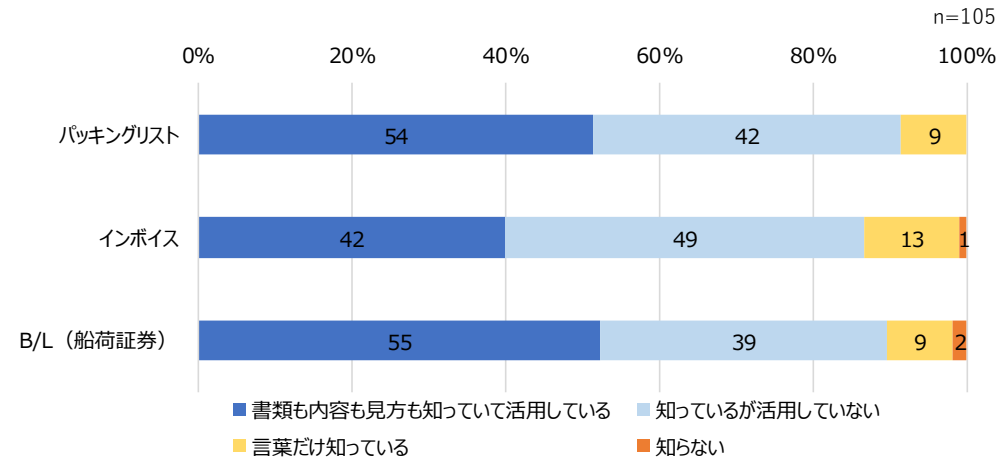
■ガイドライン等を社員に周知していますか。



■コンテナトレーラの安全運転に関わる内容について取組状況



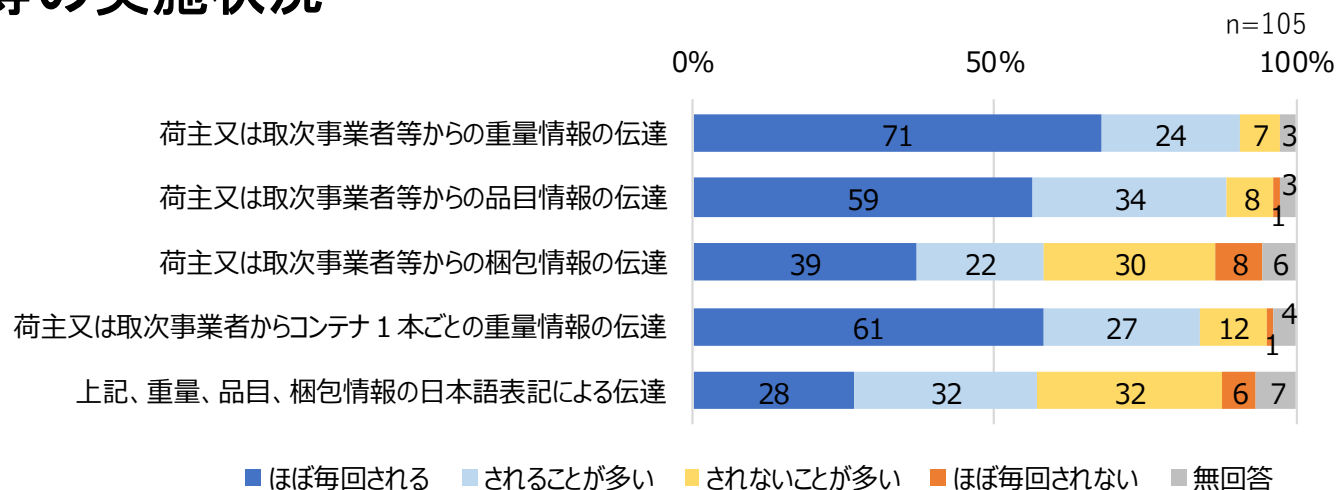
■用語の認知度



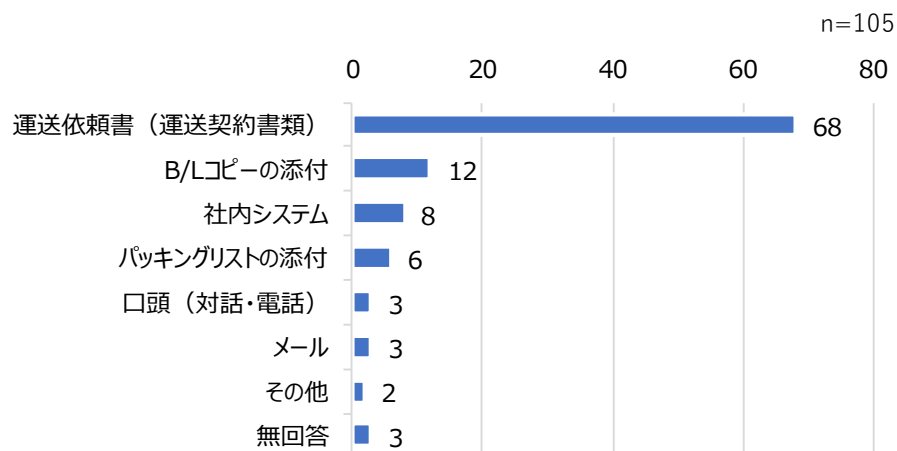
《輸入コンテナ》

(1) 運転者への伝達

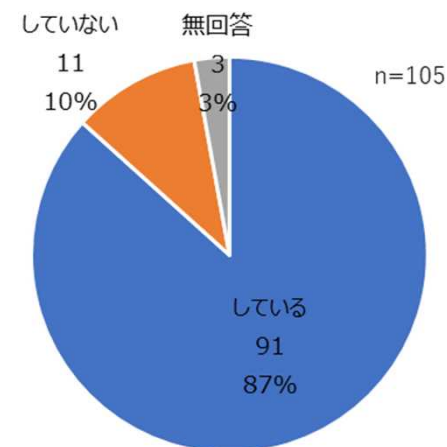
■ 情報伝達等の実施状況



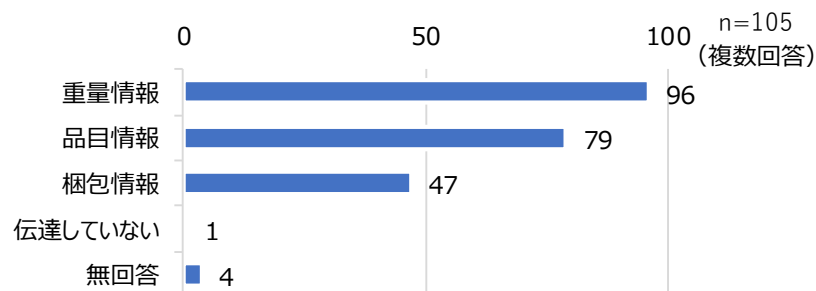
■ 重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



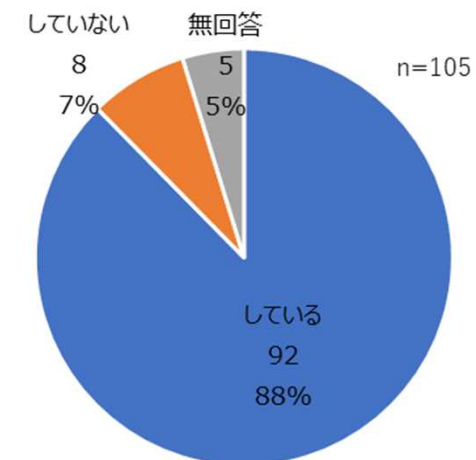
■ 重量、品目、梱包情報等が得られていない場合、運送依頼を行った者への情報要求



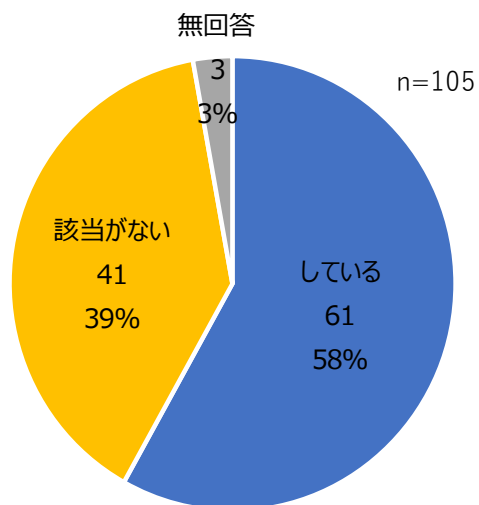
■ 運転者へ伝達している情報



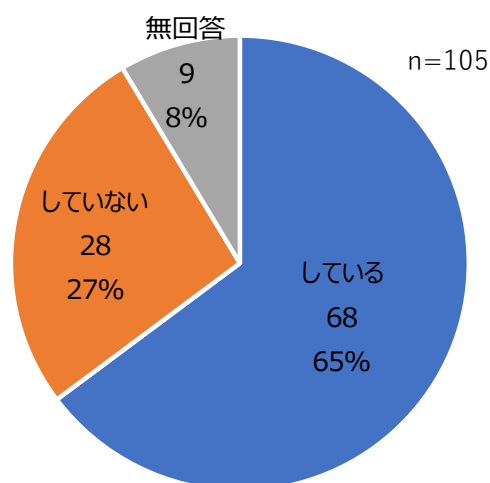
■ 運転者へのコンテナ1本ごとの重量情報の伝達



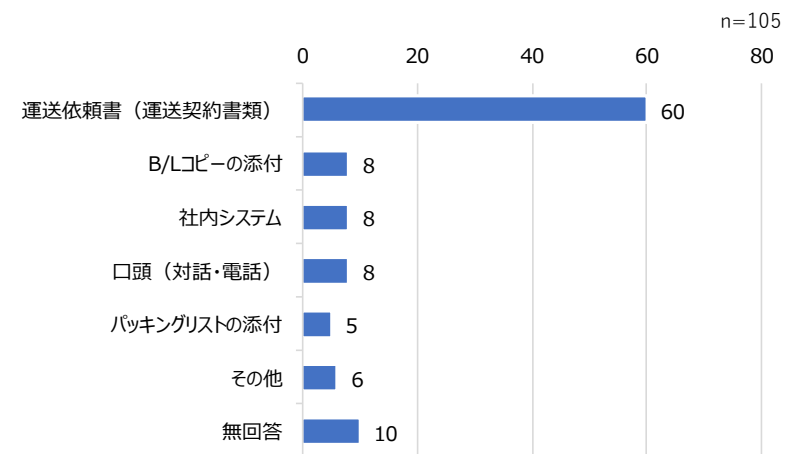
■ 運転者への危険物に関する情報の伝達



■ 重量、品目、梱包情報の日本語表記による伝達



■ 重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



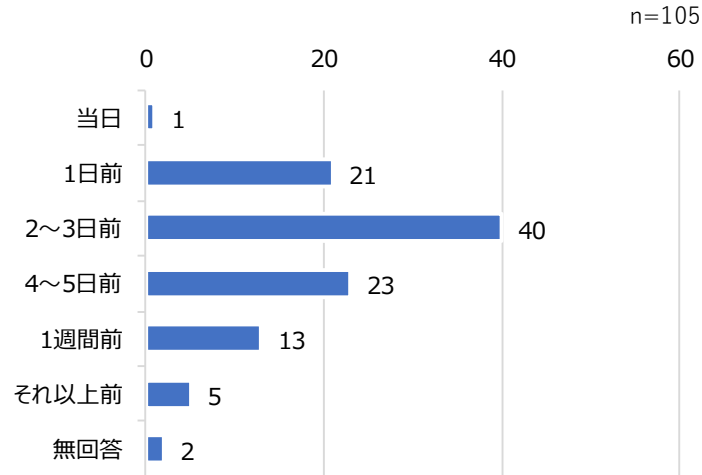
■上記、「されない」、「していない」と回答した項目の障害となっている事柄

《主な回答》

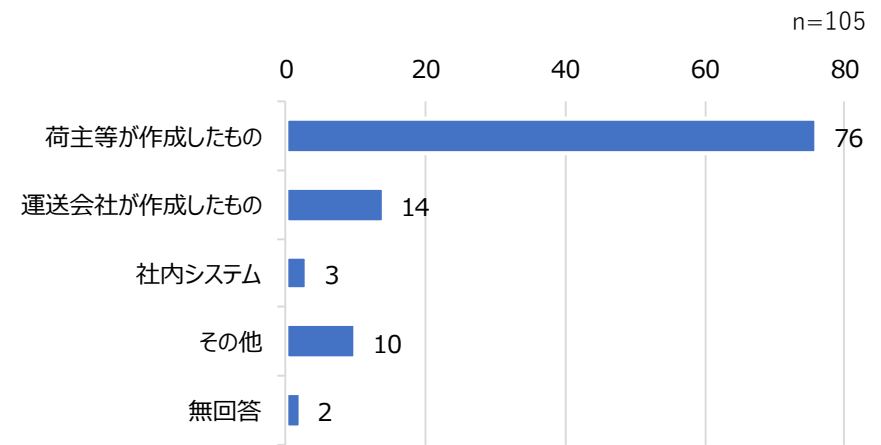
- ・重量等の伝達を荷主にお願いしているが返答が無い
- ・1BL複数コンテナの場合は、コンテナ1本あたりの詳細がわからない
- ・同業者からの発注は記載されていない場合が多い
- ・元請け事業者へも情報の伝達がなされていない
- ・輸入コンテナの梱包情報に関しては、積地国から情報を入手することは難しい環境にある
- ・特に、梱包情報についての記載はないことが多い

(2) 運送依頼書

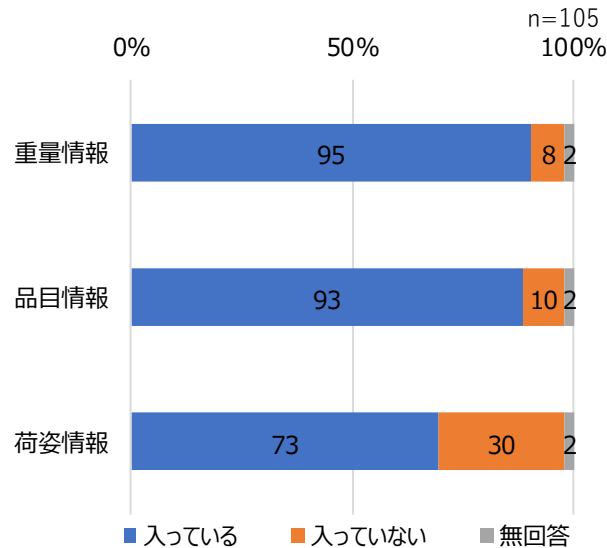
■ 配送当日の何日前に運送依頼があるか



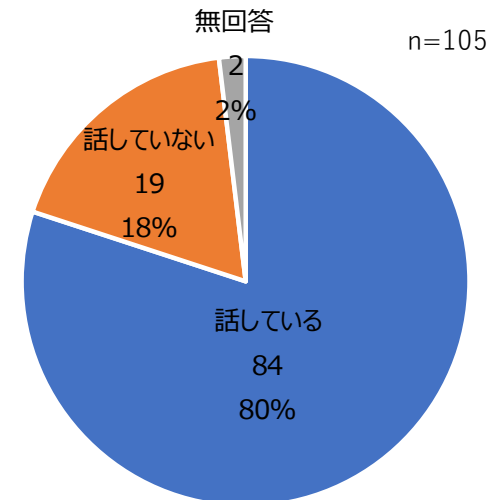
■ 運送依頼はどのようなフォームか



■ 運送依頼内容



■ 重量、品目、荷姿情報が入っていない場合、入れてもらえるように話しているか



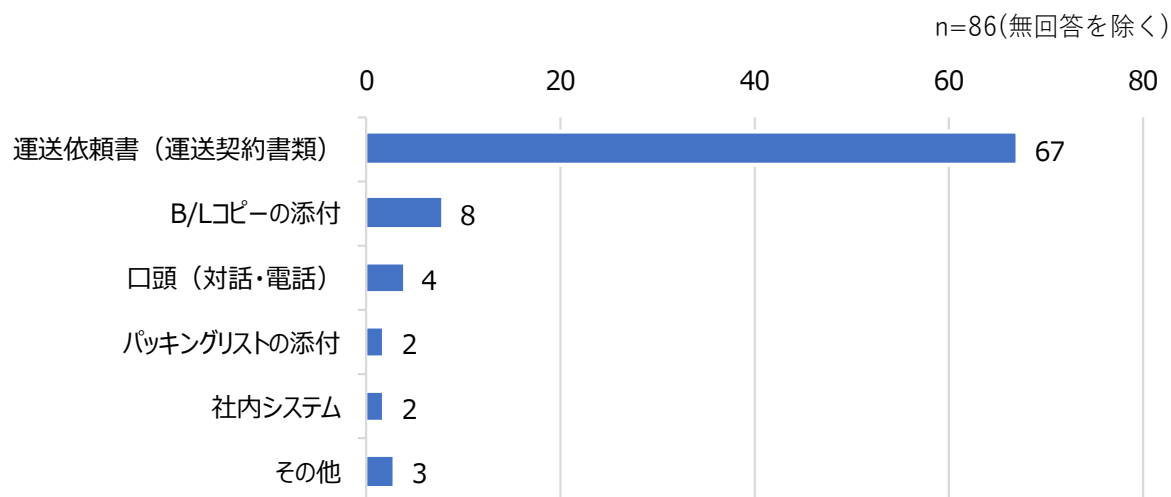
■上記、「入っていない」、「話していない」と回答した項目の障害となっている事柄

《主な回答》

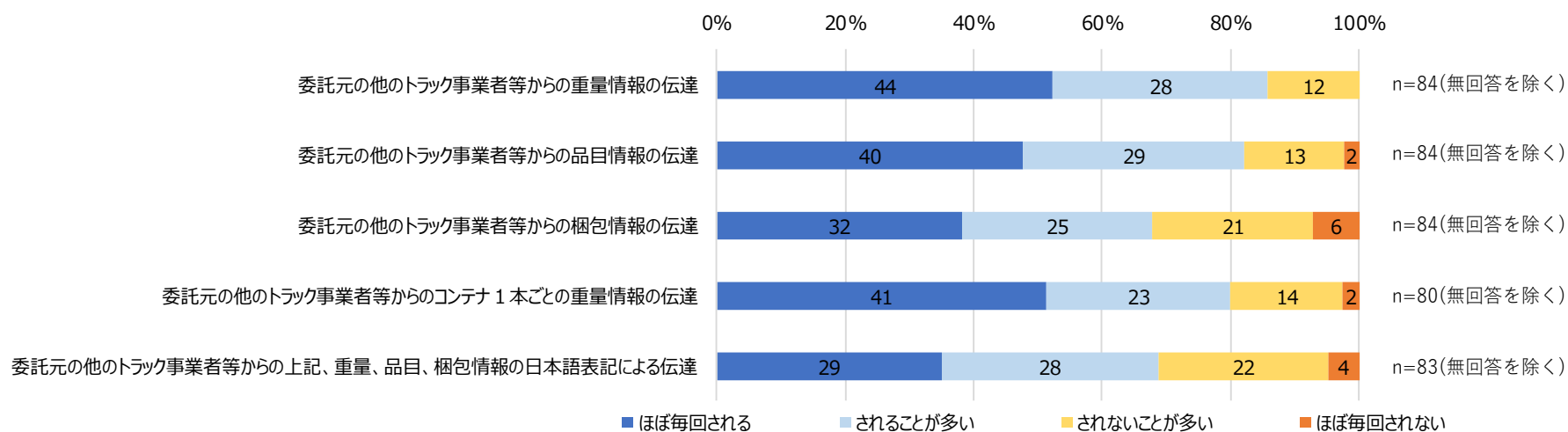
- ・ 荷主等に伝達をお願いしているが返答が無い
- ・ 主に中国を中心にアジア航路が多く、出港後に詳細情報が連絡されるため、コンテナの動きに情報提供が追い付かない
- ・ 人と費用がかかる
- ・ 輸入コンテナが船積前で、関係書類がまだ揃っていない状態で荷主等からのおおよその配送予定が連絡されるため

(3) 下請事業者

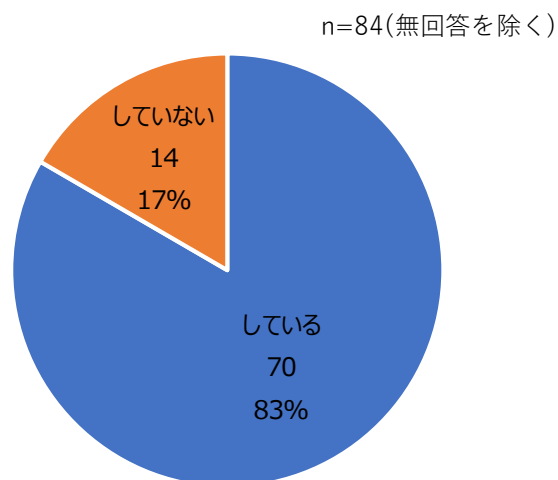
■委託元の他のトラック事業者等からの重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



■情報伝達等の実施状況



■上記、重量、品目、梱包情報等が得られていない場合、委託元の他のトラック事業者への情報要求



■上記、「されない」、「していない」と回答された項目の障害となっている事柄

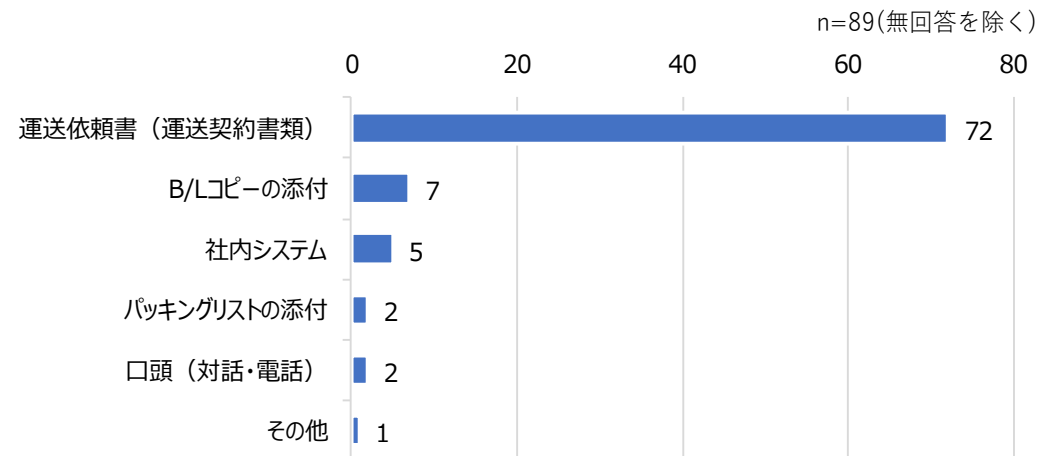
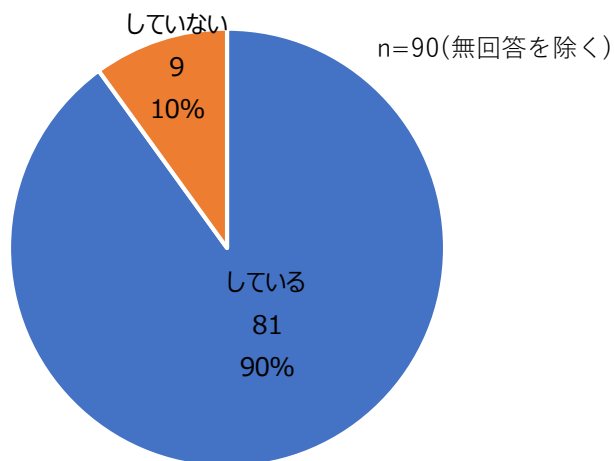
《主な回答》

- ・ 荷主やメーカーを知られたくないのか、自社フォームでのオーダーが多い
- ・ 急な依頼が多く、情報がとれなくてもとりあえず車両を手配することが多い
- ・ そもそも運送依頼書に、品目情報が記されていない

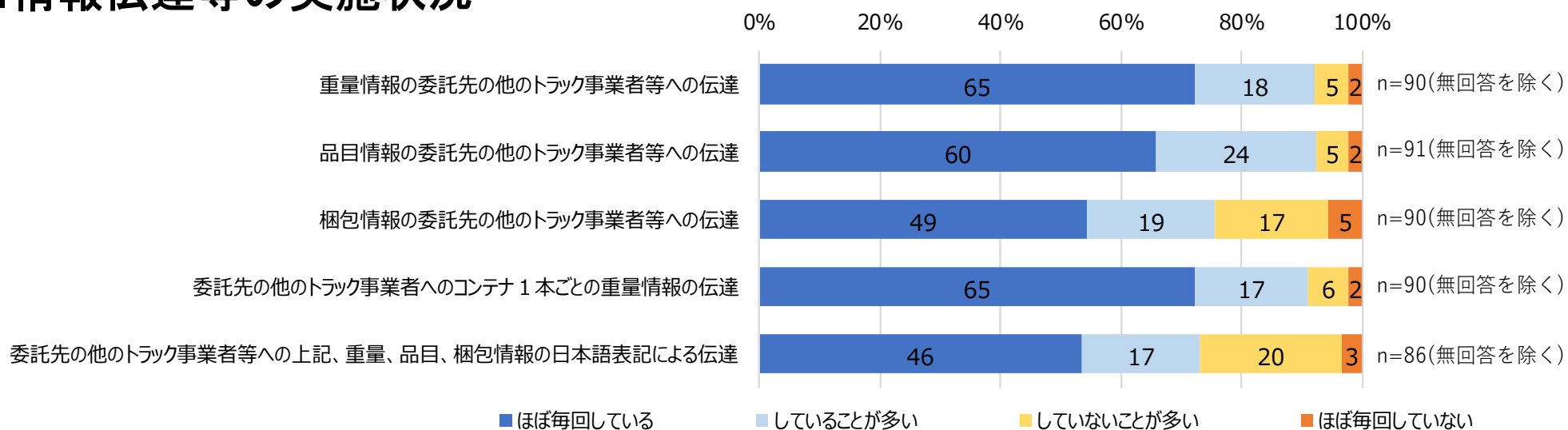
(4) 元請事業者

■ 荷主又は取次事業者から得られた重量、品目、梱包情報等の適切な伝達

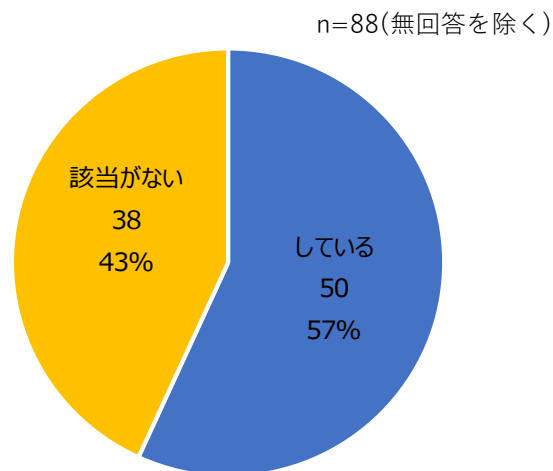
■ 重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



■ 情報伝達等の実施状況



■危険物に関する情報伝達



■上記、「していない」と回答された項目の障害となっている事柄

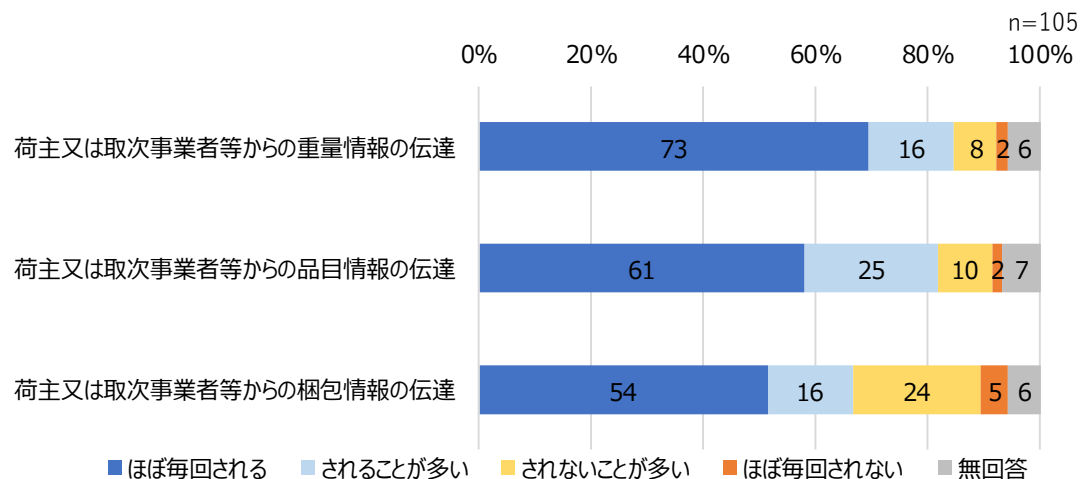
《主な回答》

- ・元荷主からの情報が不足しており、委託先に伝達できない
- ・元請から重量、梱包情報等が入っていない場合が多い
- ・3軸シャーシ指定の場合は連絡している
- ・荷主からの伝票が英語表記の為

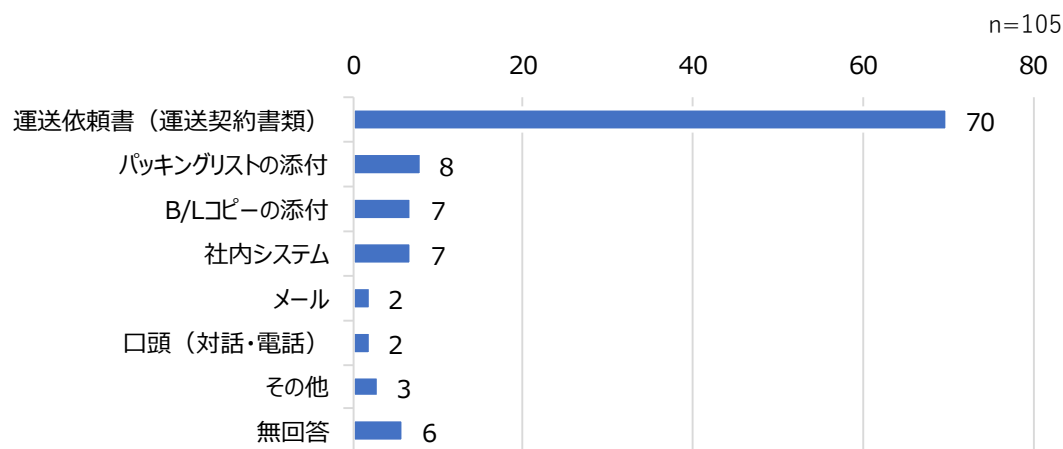
《輸出コンテナ》

(1) 運転者への伝達

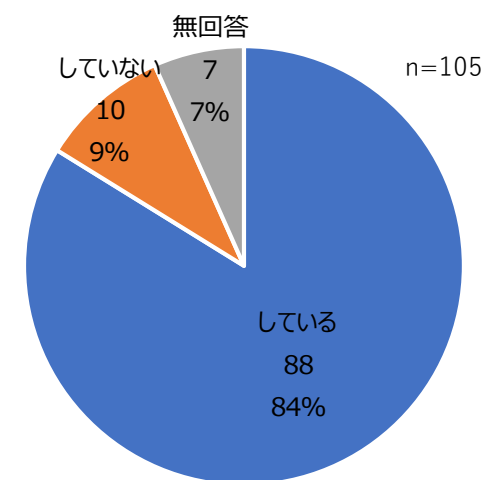
■ 情報伝達等の実施状況



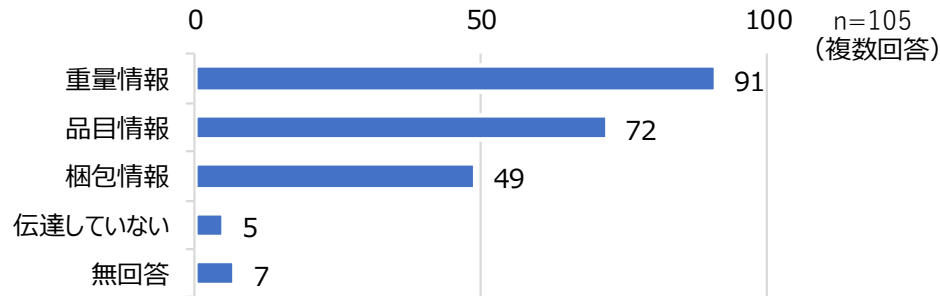
■ 重量、品目、梱包情報の 主な伝達方法



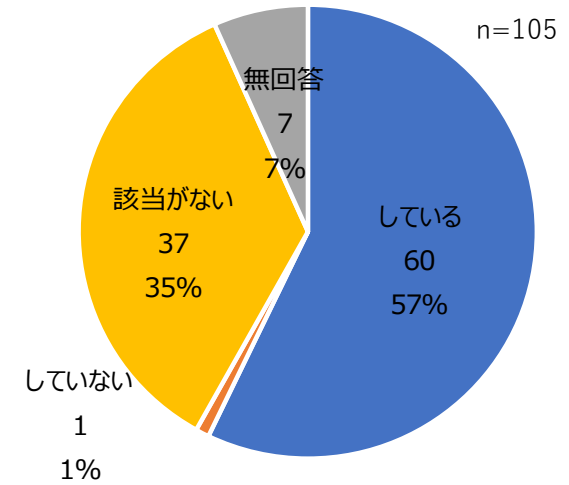
■ 重量、品目、梱包情報等が得られていない 場合、運送依頼を行った者への情報要求



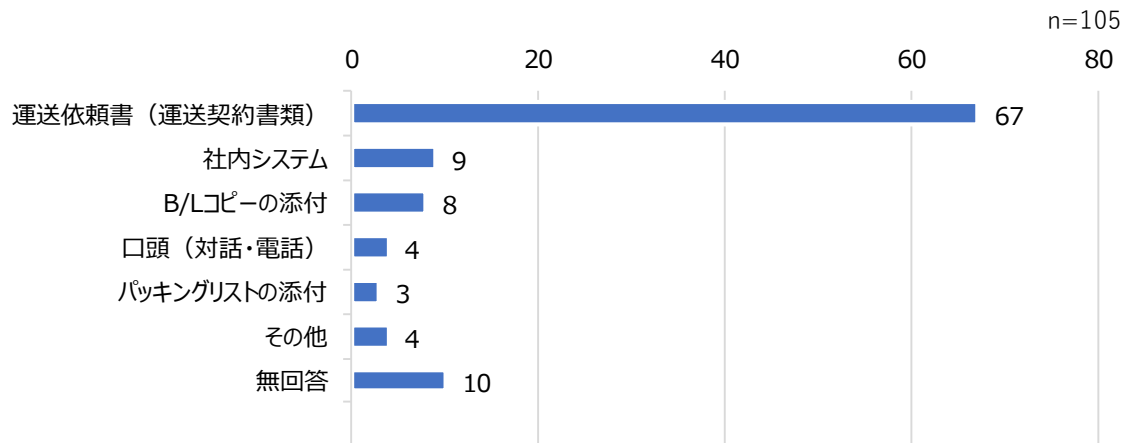
■運転者へ伝達している情報



■運転者への危険物に関する情報の伝達



■重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



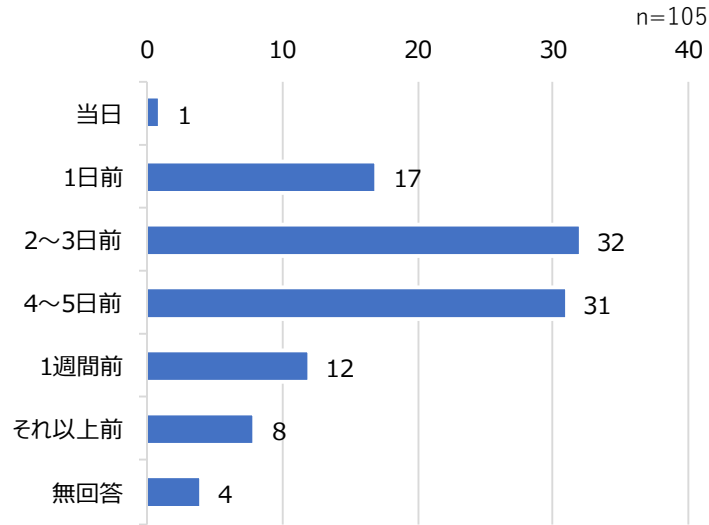
■上記、「されない」「していない」と回答された項目の障害となっている事柄

《主な回答》

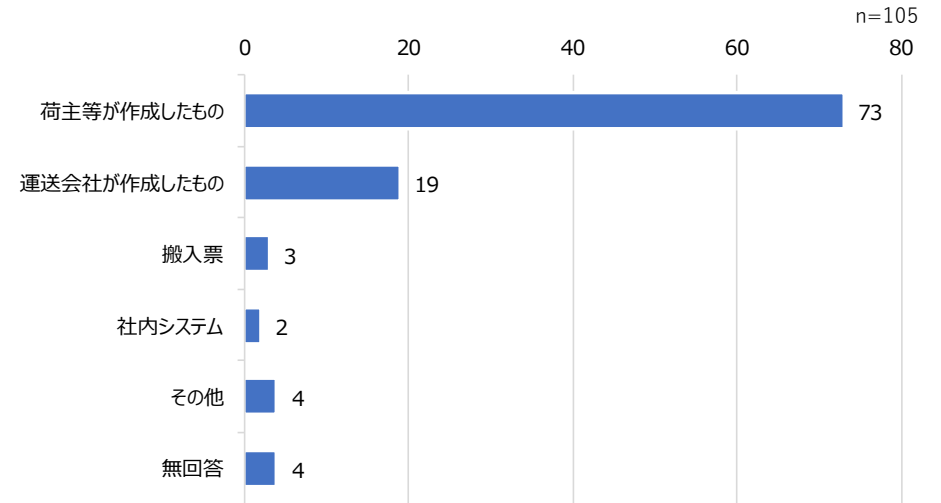
- ・品目や梱包情報を記載する欄が搬入票にない
- ・荷主からは詳細な情報は頂いているが、取り扱う貨物が限定されるため乗務員に対する指示は、品目・数量のみの伝達で理解できている

(2) 運送依頼書

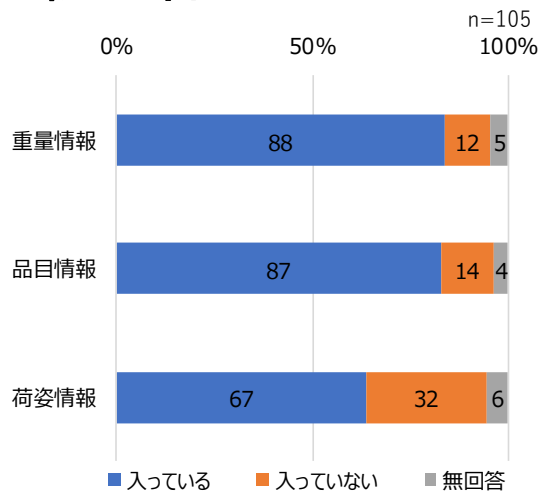
■ 配送当日の何日前に運送依頼があるか



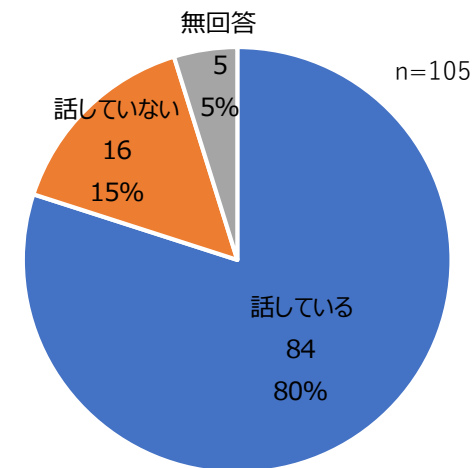
■ 運送依頼はどのようなフォームか



■ 運送依頼内容



■ 重量、品目、荷姿情報が入っていない場合、入れてもらえるように話しているか



1. トラック事業者に対する実態調査

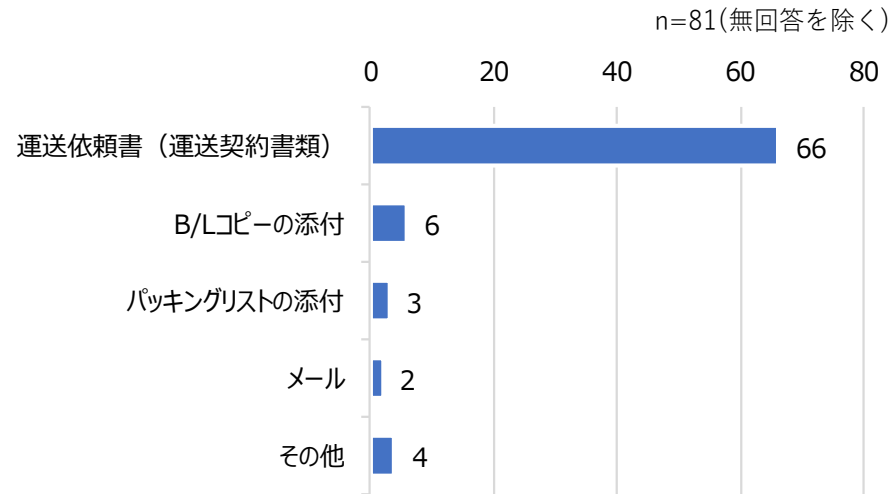
■上記、「入っていない」、「話していない」と回答した項目の障害となっている事柄

《主な回答》

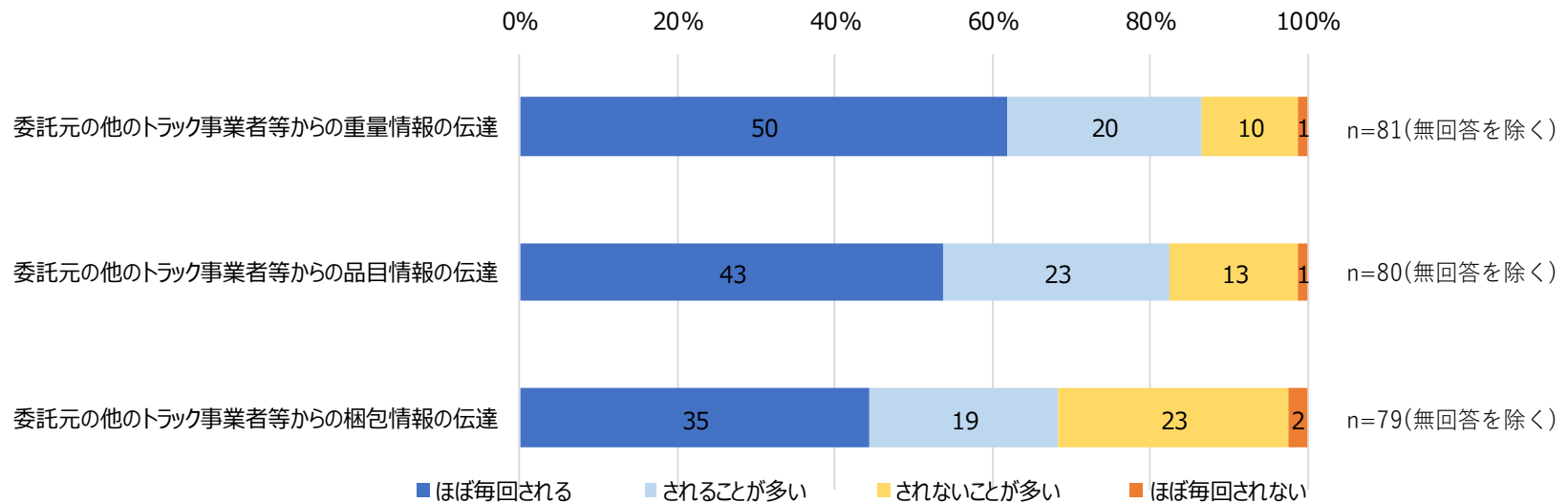
- ・ 荷主の依頼書フォーム（システム）にそもそも情報の記入欄が無いことが多い
- ・ 搬入票に荷姿情報に係る記載がない

(3) 下請事業者

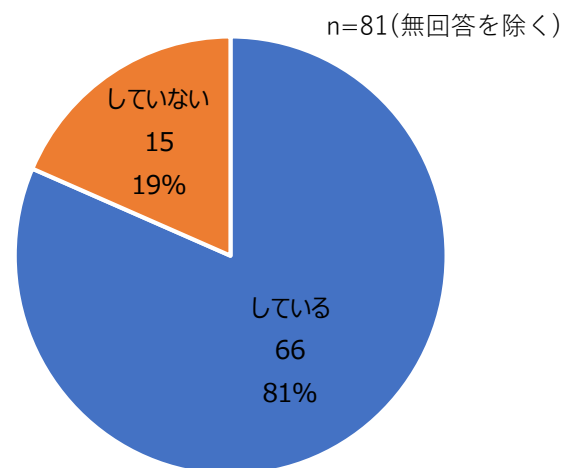
■委託元の他のトラック事業者等からの重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



■情報伝達等の実施状況



■上記、重量、品目、梱包情報等が得られていない場合、委託元の他のトラック事業者への情報要求



■上記、「されない」、「していない」と回答された項目の障害となっている事柄

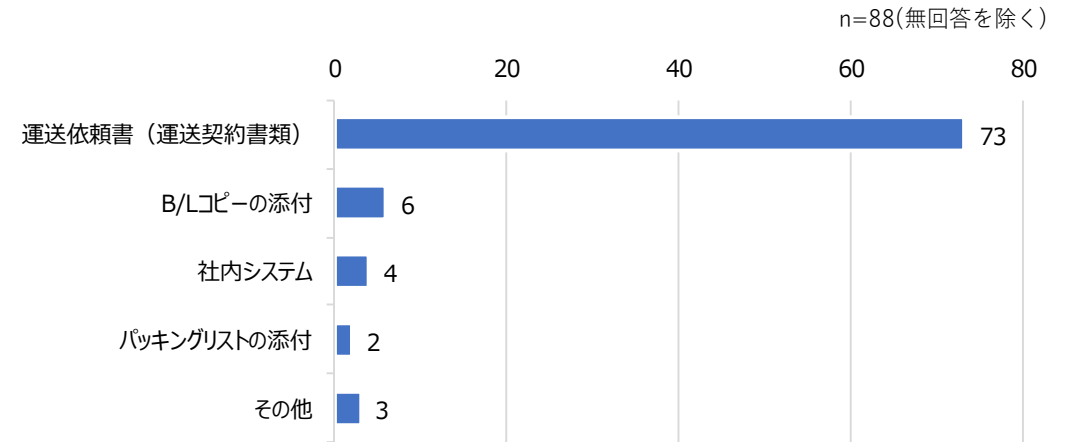
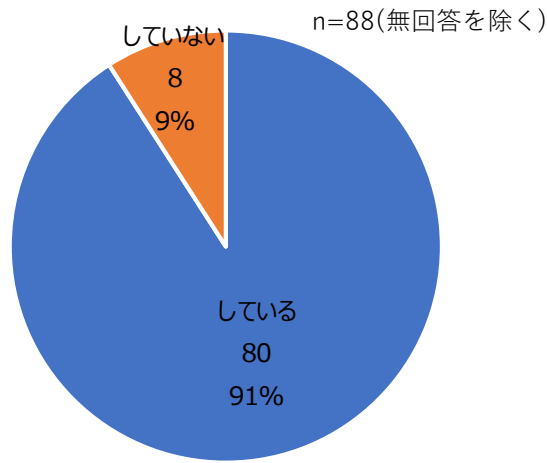
《主な回答》

- ・搬入票に荷姿情報に係る記載がない
- ・取り扱う貨物が限定されており、過積載等の心配が無い為、都度確認はしていない

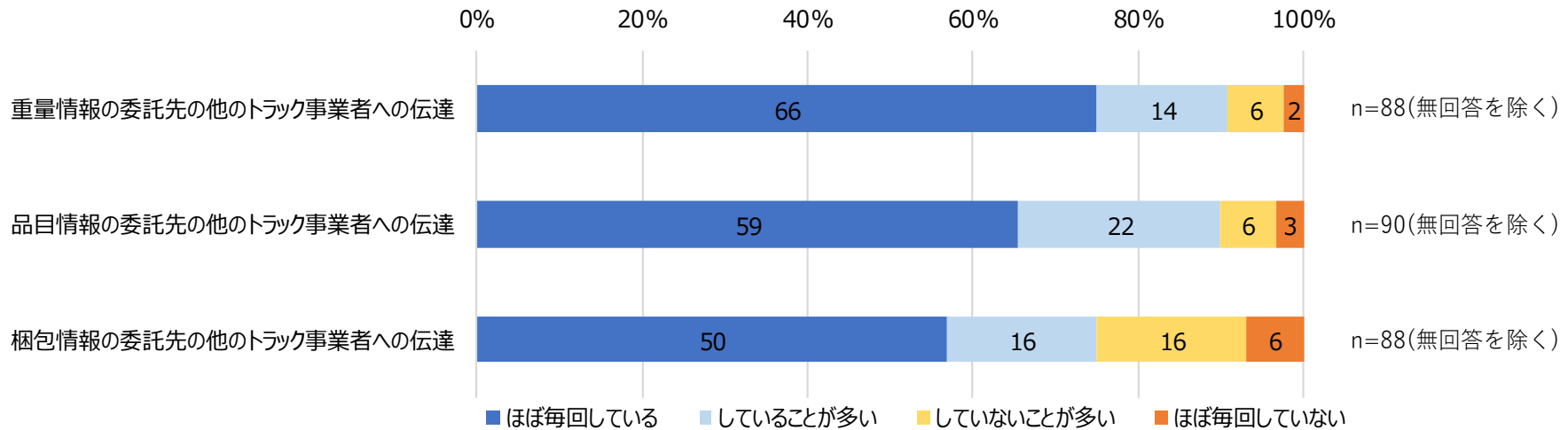
(4)元請事業者

■荷主又は取次事業者から得られた重量、品目、梱包情報等の適切な伝達

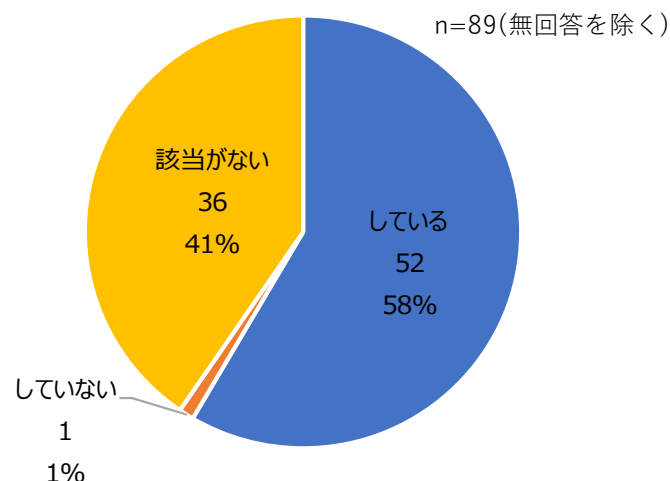
■重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



■情報伝達等の実施状況



■危険物に関する情報伝達



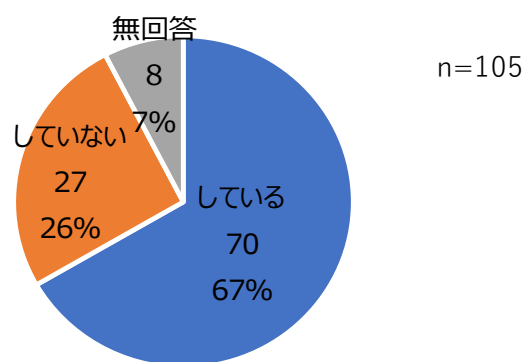
■上記、「していない」と回答された項目の障害となっている事柄

《主な回答》

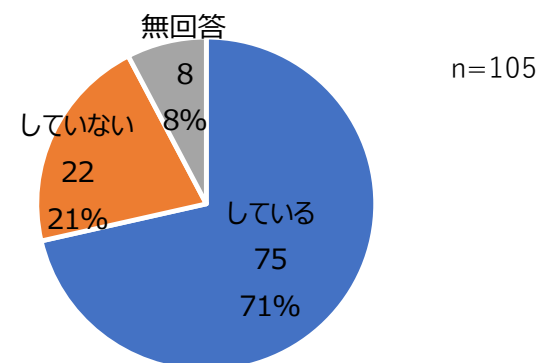
- ・輸送業務を委託する契約の段階で、委託先の協力会社に伝えており、協力会社も理解している為

■不適切状態にあるコンテナの発見及び是正のための措置に関する取組状況

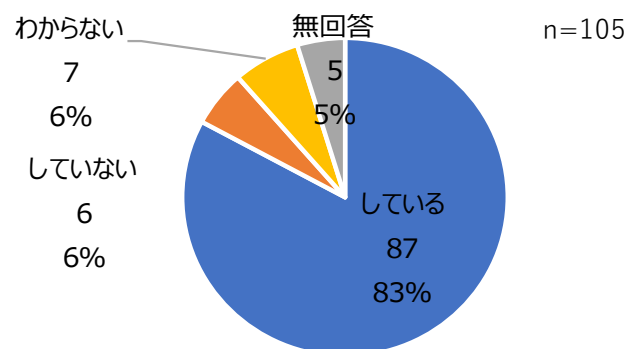
○輸入時において、運送前までに書面にて不適切状態（重量超過や偏荷重等）のおそれがあるコンテナの事前確認



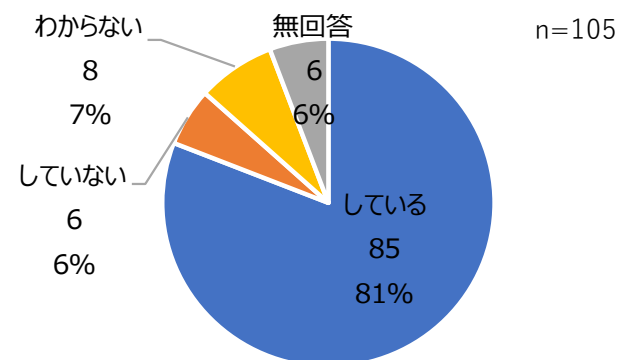
○輸出時において、運送前までに書面に不適切状態（重量超過や偏荷重等）のおそれがあるコンテナの事前確認



○不適切コンテナが発見された際の関係機関との開封・是正のための連絡調整体制の確立



○不適切コンテナが発見された際の関係機関との開封・是正のための対応の実施



■情報伝達を行うにあたり、貴社特有の取組・工夫点など

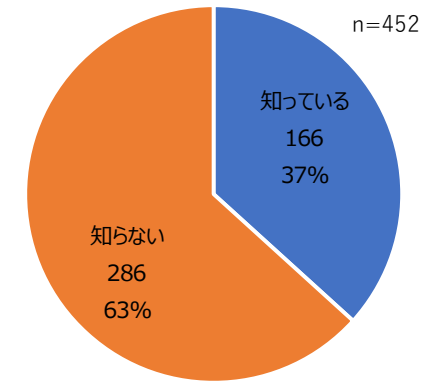
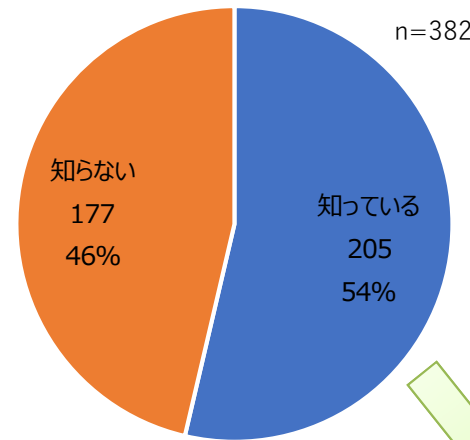
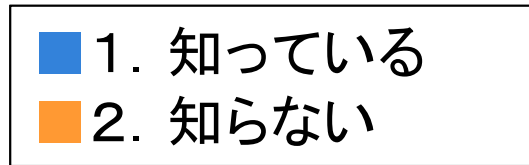
《主な回答》

- 基本は依頼書に全て記載いただくように依頼をしており、無い場合は、電話にて確認を行う。
- 運転者に渡す指示書に情報を記載している
- 配送指示書を渡す際に口頭でも説明、注意点を伝えている
- 運送依頼書（フォーム）を統一している
- 運送元請会社と共通運送システムを導入・利用し、情報を共有している
- 運送元請会社から貸与された車載端末（タブレット）をドライバーに持たせ、運行指示、コンテナ情報等をやり取りしている
- 元請事業者開発による配車システムにより、協力会社までネットワークで繋がっており、一元的な管理を行っている
- 弊社コンテナ業務は、100%に近い割合で特定の海貨業者と提携しており、先方のシステムとオンラインにて業務を行っており、必要な情報を網羅された手配が成されている
- 取次事業者となる親会社が一元管理するシステムを導入し、専用端末機より情報を得ている

■国土交通省で策定している、

- ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送ガイドライン」
 - ・「国際海上コンテナの陸上における安全輸送マニュアル」（以下「ガイドライン等」）
- を知っていますか。

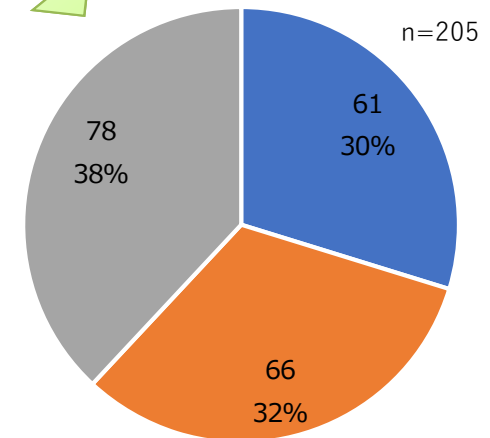
（参考：平成30年度調査）



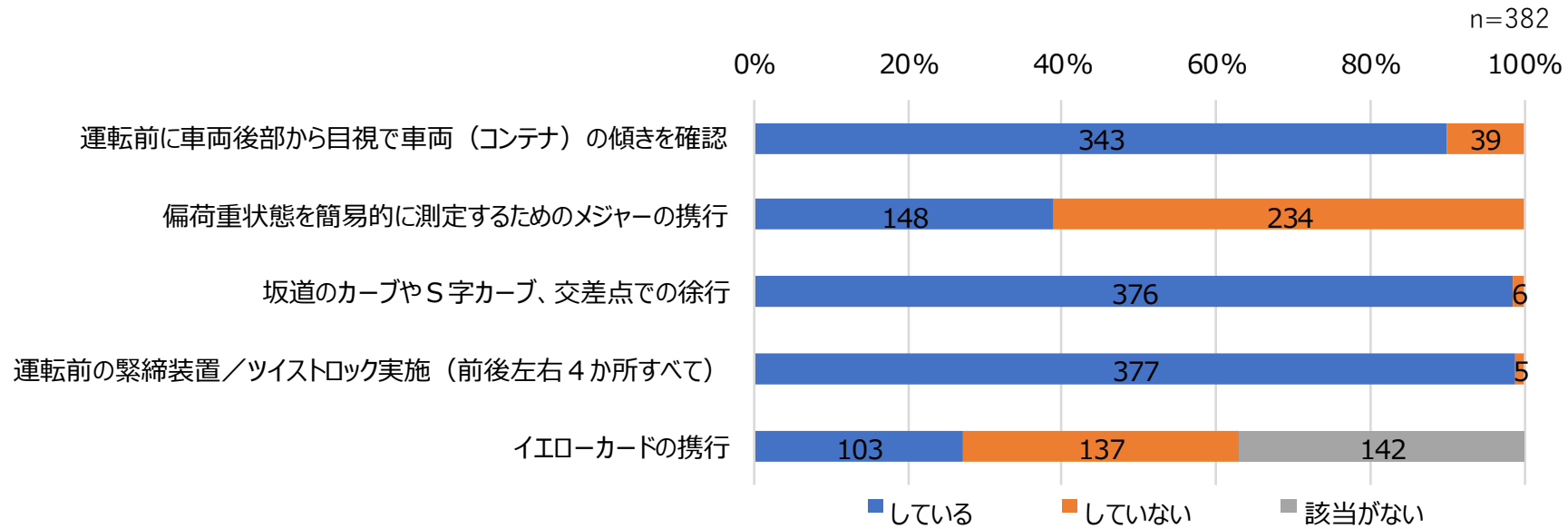
【ガイドライン等を知っている場合】

■所属会社において、ガイドライン等に関する周知や研修の機会がありますか。

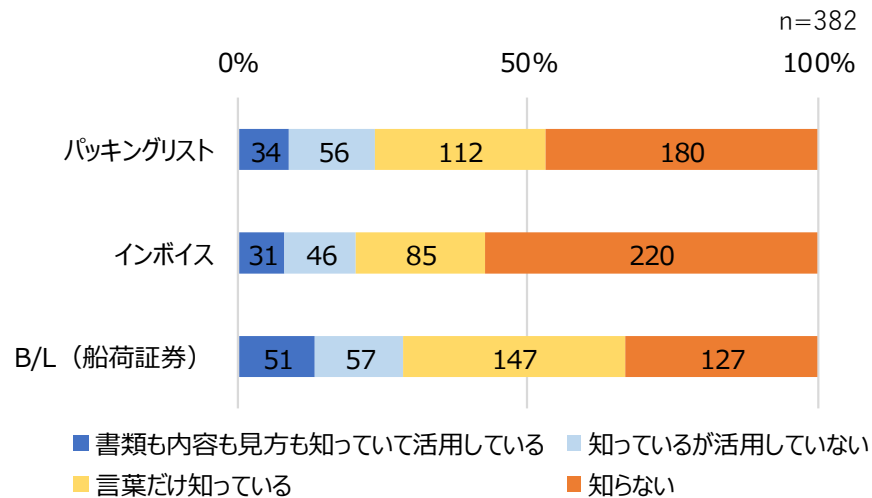
- 1. 1年に1度など、定期的に周知、教育される機会がある
- 2. 入社時や改定時などのみ、周知、教育された
- 3. 会社から周知される機会はなく、別の手段で知り得ている



■コンテナトレーラの安全運転に関わる内容について取組状況

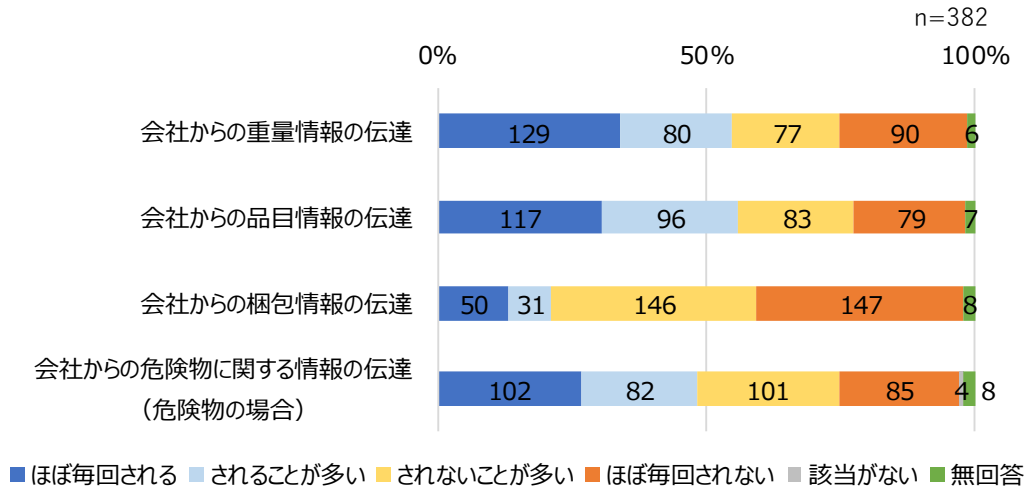


■用語の認知度

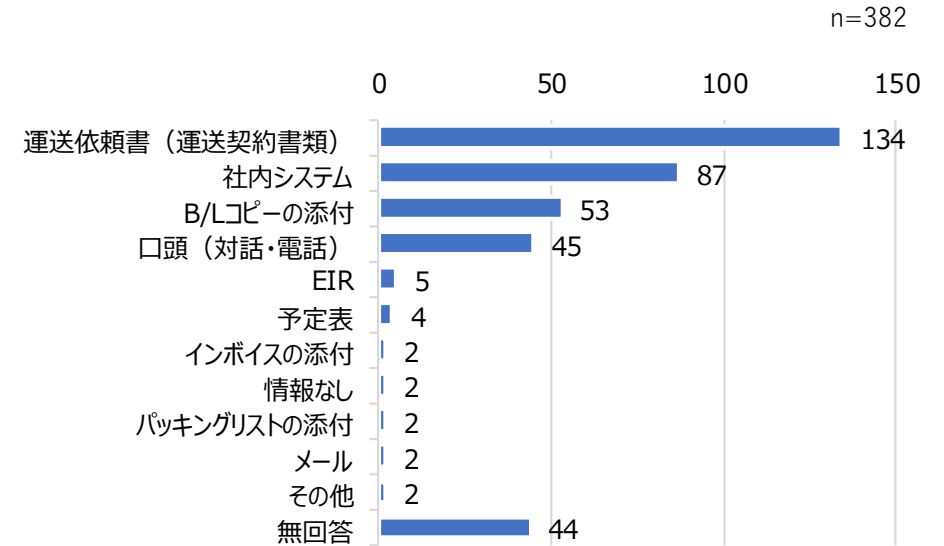


《輸入コンテナ》

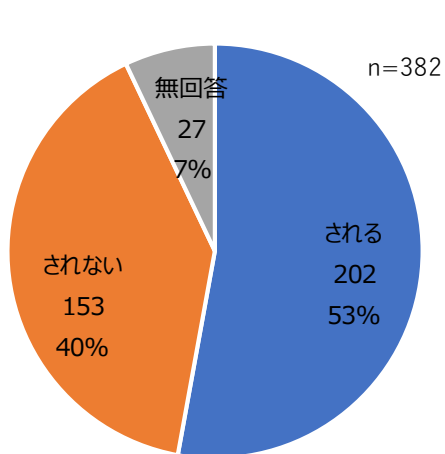
■ 情報伝達等の実施状況



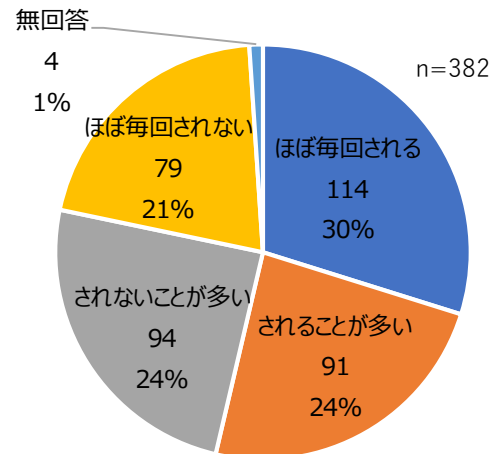
■ 重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



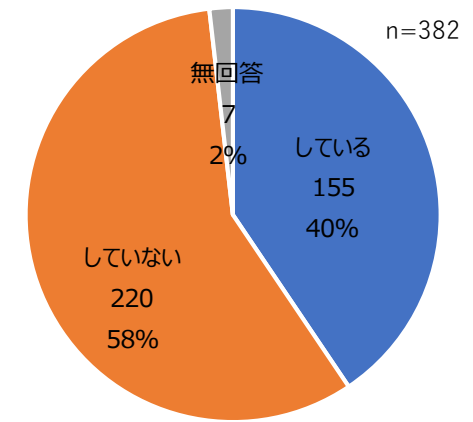
■ 日本語表記による伝達



■ コンテナ1本ごとの重量伝達

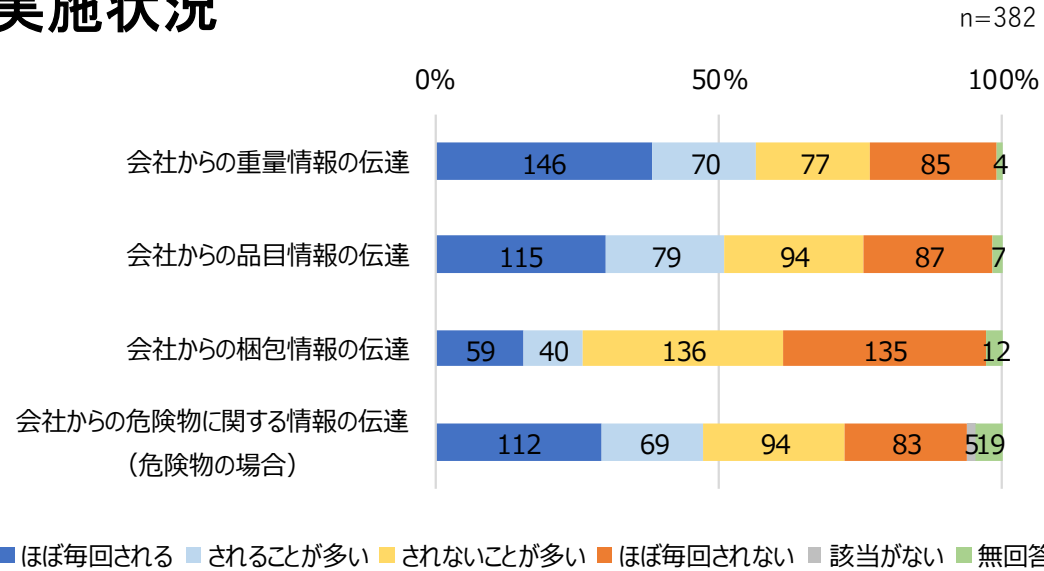


■ 重量、品目、梱包情報等が得られていない場合、会社への情報要求

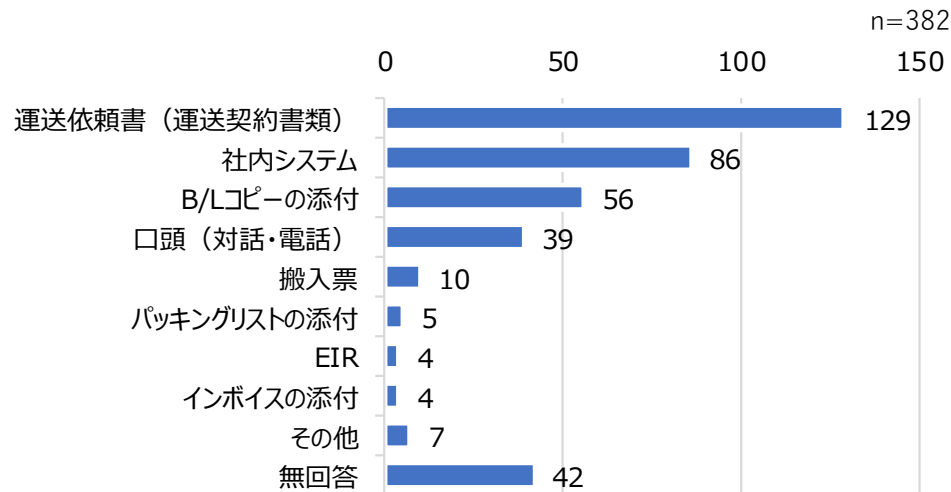


《輸出コンテナ》

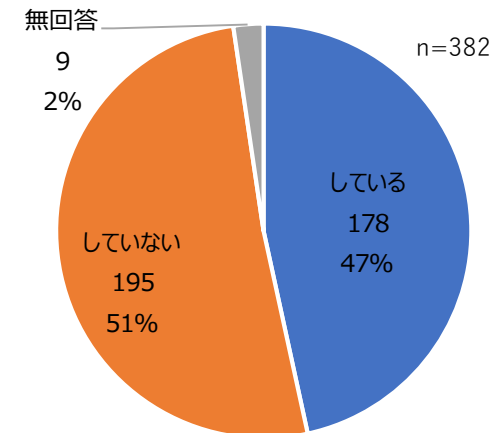
■ 情報伝達等の実施状況



■ 重量、品目、梱包情報の主な伝達方法



■ 重量、品目、梱包情報等が得られていない場合、会社への情報要求



II. トラック運転者に対する実態調査

- 情報伝達等に関し、「されない」「していない」と回答された項目について、実施するために障害となっている事柄についてご記入ください。

《主な回答》

- ・ 内容物等について、会社側が把握していない
- ・ 顧客情報守秘義務の為、情報を開示できないと毎回言われる
- ・ 輸入の場合は開けてみないとわからない
- ・ 情報伝達される側、する側双方の危険度の認識の甘さ、言わざる、聞かざる
- ・ 時間に余裕がない
- ・ 言いづらい
- ・ 面倒だから
- ・ 朝は指示があるが2回目以降はない

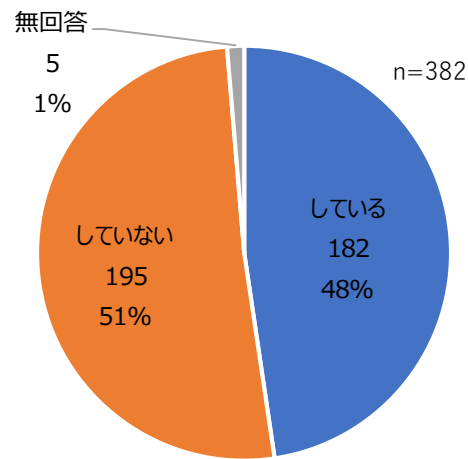
- 情報伝達を行うにあたり、貴社特有の取組、工夫点などがありましたらご記入ください。

《主な回答》

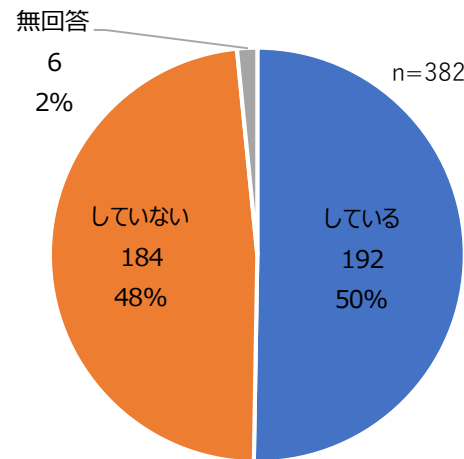
- ・ 海貨業者と連携したシステムが導入されている
- ・ 一元管理システムを導入している
- ・ 専用端末による情報伝達
- ・ スマートフォンアプリを活用している
- ・ 注意事項の書類添付

■ 不適切状態にあるコンテナの発見及び是正のための措置に関する取組状況

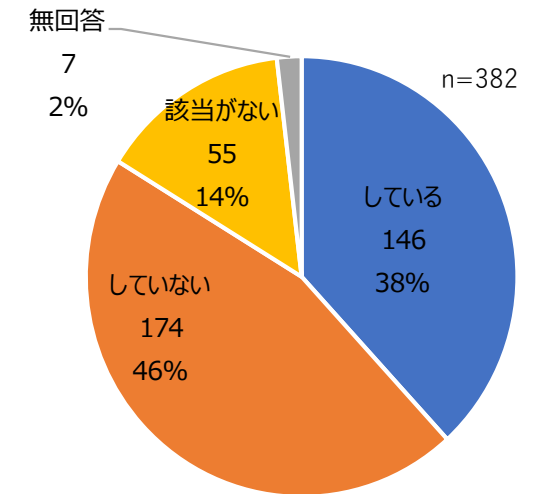
○ 輸入時において、運送前までに書面にて不適切状態(重量超過や偏荷重等)のおそれがあるコンテナの事前確認



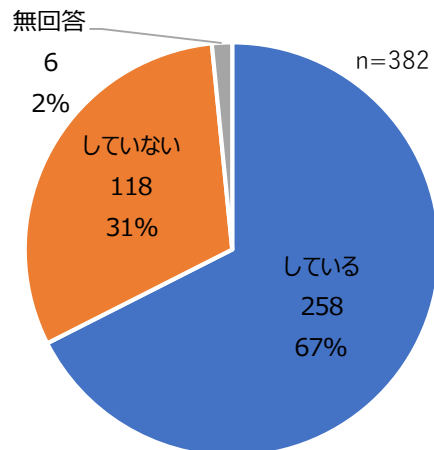
○ 輸出時において、運送前までに書面にて不適切状態(重量超過や偏荷重等)のおそれがあるコンテナの事前確認



○ 車両に傾きのおそれがある場合、メジャーによる傾きの簡易計測



○ 会社から運転者に対し、不適切コンテナが発見された際の関係機関との開封・是正のための連絡調整体制の確立



○ 不適切コンテナが発見された際の会社及び関係機関への連絡

